サーバプログラミング演習

日程管理システム

要件定義書

第1.0版

[チーム名　MNB]

[学籍番号　15FI028　] [氏名　織田　奎太朗　]

[学籍番号　15FI009　] [氏名　和泉　恵太　]

[学籍番号　15FI018　] [氏名　江森　智也　]

[学籍番号　15FI026　] [氏名　尾崎　将　]

[学籍番号　15FI029　] [氏名　落合　竜也　]

レビュー記録

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回数 | 実施日 | レビュアー氏名 | 指摘内容 | 結果 |
| 1回目  1.0版 |  |  |  |  |
| 2回目  X.X版 |  |  |  |  |
| 3回目  X.Y版 |  |  |  |  |

変更履歴

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 変更箇所 | 変更内容 | 変更者 | 変更日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

# 1. 開発の背景

班員全員がソフトウェア研究部に所属しており現状ソフトウェア研究部では部の活動日時やイベントの告知をメールで行っている.だが実際,メールでの伝達では部員の生活によっては数あるメールの中に埋もれてしまい気づかない場合があり,「連絡が隅々まで行き届かない」という問題点がある.また,メールのように文字媒体だけだと「情報量が少ない」,「グラフィカル感に欠けている」という問題点もある.

そこで,これらの問題を解決するために日程管理システムを開発する.

開発する日程管理システムでは,管理権限を持つ役職が「講習日程カレンダーの編集」や「お知らせの掲示板を編集」を行うことが可能で,その編集内容を日程管理システムに反映する.日程管理システムを介して活動日時やイベントの告知を行えることで部員ごとにシステム上でそれらの情報を確認でき,メールでの告知における「連絡が隅々まで行き届かない」という問題点を解消することが出来る.またシステム上にグラフィカルな部分を持たせられる点から「文字だけによる情報量の少なさ」や「グラフィカル感に欠ける」といった問題点も解決することができる.

# 2. システムの概要

## 2.1 システムの名称

日程管理システム

## 2.2 システムについての簡単な説明

## 2.3 システム構成図

システム構成図（いわゆるポンチ絵）を描く．

## 2.4 想定ユーザと利用シナリオ

【部員】

部員は活動日時やイベントの情報を確認するために本システムを利用する.活動日程の確認をするため講習日程カレンダーの閲覧を行うことができる.イベントの告知等を確認するためにお知らせ掲示板の閲覧を行うことができる.

【役職】

役職は講習日程カレンダーの編集,お知らせ掲示板の編集を本システムで実施する.

# 3. 開発計画

## 3.1 スケジュール

2014年4月25日　要件定義書提出

2014年5月16日　外部設計書提出

2014年5月30日　クラス設計書提出

2014年○月○日　実装終了日

2014年○月○日　テスト，修正及びリファクタリング

2014年○月○日　発表日

## 3.2 開発体制

・プロジェクトマネージャ： 織田　奎太朗

・アプリケーションスペシャリスト：和泉　恵太、落合　竜也

・ITアーキテクト：江森　智也

・品質保証マネージャ：尾崎　将

## 3.3 成果物定義

要件定義書　：　4月14日～4月25日　織田　奎太朗（全員の場合，作成責任者名）

外部設計書　：　○月○日～○月○日　作成予定者名（同上）

クラス設計書　：　○月○日～○月○日　作成予定者名（同上）

発表用スライド　：　○月○日～○月○日　作成予定者名（同上）

ユーザ操作マニュアル　：　○月○日～○月○日　作成予定者名（同上）

日程管理システム　：　○月○日～○月○日　作成予定者名（同上）

# 4. 要件定義

## 4.1 機能要求（※一部）

このシステムに求められる機能は何か．

その機能は何ができなければならないか．

## 4.2 ユースケース図（※一部）

ユースケース図を書く．

## 4.3 ユースケース文（※一部）

ユースケース図に対応するユースケース文を書く．